

# 連携シートむすびの和

## 1 居宅療養管理指導 2 診療情報提供書

記入方法マニュアル（1，2のどちらかに○をする）

### 医療・介護サービスに活用されることに

多職種に開示するため、ケアに役立つことを説明して利用者又は介護者の理解を得る。

**緊急時連絡**：患者の病態を診て必要と思わなければ記載不要。

**後送病院**：当患者が病診連携（パスも含む）できている場合

在宅療養支援診療所の場合 契約病院を記載

現在ない場合 なしで可

**診療所連携医**：連携医がいれば記載

**歯科医**：かかりつけ歯科医を記載

**傷病名・開始年月日**：医療的に重病傷病名を最初に記載

**既往歴、家族歴、現病歴、薬歴**：わかりやすく記載する。略語・英語は不可

主訴が一番困っている事を

**日常生活に関する留意事項**(食事・排泄・入浴・外出・介助の有無等の具体的指示)

多職種からの報告を受けての指示で結構です。

最初から注意する事項があれば記載する。

**緊急時に指示等**(事前対応指示・予想される状態の対応)

当該患者の危険因子、合併症について記載する。

当該患者の悪化時の早期症状など

**特別な医療**（パスシートに記載してある）

各医療行為に具体的な指示

### 地域連携パス

病院と連携しながら治療している場合も疾病にチェックして

多職種の方に注意事項や悪化時の病院名も

食事内容について 糖尿病 CKD 脳血管疾患などの食事指導

嚥下障害時は適切な指示

認知症の場合 専門医の有無（連携） 確定診断の有無 介護者（キーパーソン）

問題行動に指示があれば記載。その他(気がついた事を)

(参考資料)

## 在宅診療に係る報酬（医師向け）

---

むすびの和シートを活用することにより以下の報酬に係ります。

### <医療保険>

#### ○在宅患者入院共同指導料（Ⅰ）

→地域連携退院時共同指導料 1（紹介元算定）

(1) 在宅療養支援診療所	1,000 点
(2) (1) 以外	600 点

#### ○在宅患者入院共同指導料（Ⅱ）

→地域連携退院時共同指導料 2（入院先算定）

(1) 在宅療養支援診療所	500 点
(2) (1) 以外	300 点

#### ○寝たきり老人退院時共同指導料（Ⅰ、Ⅱ）

→地域連携退院時共同指導料に統合

#### ○訪問看護療養費、地域連携退院時共同指導加算

(1) 在宅療養支援診療所と連携した場合	6,000 円
(2) (1) 以外	4,200 円

### <介護保険>

居宅療養管理指導費（Ⅰ）	500 単位（1 月 2 回限度）
居宅療養管理指導費（Ⅱ）	290 単位（1 月 2 回限度）

\*いずれも通院が困難なものに対して医師が訪問し、介護支援専門員に情報提供もしくは利用者等に指導及び助言を行った場合。

(2012 年 4 月現在)